

地域公共交通の現状について

現状

御殿場市の地域公共交通は、鉄道、路線バス（高速バス）、タクシーによって構成されている。

公共交通

①鉄道

- ・ J R 東海（御殿場駅、南御殿場駅、富士岡駅）
- ・ 小田急電鉄（特急ふじさん号）

神奈川県国府津駅と静岡県沼津駅間を結ぶ J R 御殿場線は、通勤通学や観光客を中心に市内の駅（御殿場駅・南御殿場駅・富士岡駅）を 1 日平均約 5 千人以上の方が利用されている。また、御殿場～新宿間を結ぶ特急ふじさん号が運行している。

主な施策：御殿場線利活用推進協議会（御殿場線沿線 10 市町加盟）において、鉄道事業者との協議会を行い、利便性向上のに向けた検討

②路線バス（高速バス） 主なバスのみ

- ・ 富士急モビリティ 御殿場駅を中心に放射線状に 21 路線運行
- ・ 箱根登山バス 主に御殿場駅やアウトレットから箱根方面に 3 路線運行
- ・ 富士急バス 山梨県河口湖方面に 1 路線運行
- ・ 小田急箱根高速バス 新宿や羽田空港方面に運行

御殿場駅を起点として、概ね市内の拠点間を効率よく一度に多くの方を運ぶことができ、年間約 65 万人の方が利用されている。また、東京方面にも御殿場駅から高速バスが運行しており、関東圏へのアクセスにも利用が多い。

主な施策：利用促進運動の実施（イベントや関係各所へのお願いなど）

収支の悪化している路線への補助

移動手段のない高齢者への利用助成券の配布

③タクシー

御殿場タクシー・光タクシー・こだまタクシー・富士急静岡タクシー

路線バスでは補完できない場所への移動だけではなく、急病の方への対応など様々な用途で利用されている。

主な施策：移動手段のない高齢者への利用助成券の配布、UDタクシーの購入費補助

その他（自家用車など）

現在、移動手段として多くの方が自家用車を利用。ただし、高齢化社会の進展に伴い、高齢者による交通事故も顕在化していることから、路線バスなど公共交通の維持は必要不可欠となる。また、一部路線バスが運行していない地域では地域のボランティアが移動手段のない高齢者の外出支援を行う福祉サービスも実施されている。また、現在実験的にタクシー事業者が運行主体となる日本版ライドシェアが実施されている。